

〈令和4度〉ミライカナエル活動サポート事業 ステップアップ支援コース

団体名	NPO 法人紙芝居 Project
事業名	紙芝居で育む子どもたちの未来と郷土愛
補助金額	500,000円

事業の目的

子どもたちの未来と郷土愛を育む「『江島縁起』紙芝居口演」を継続・発展させていく為、口演を支える演者やクリエイターを育成し、シニア世代を中心とした生きがい創造と、子どもたちの健やかな発育に貢献する。

事業の内容と成果・効果

〈事業の経過と内容〉

① 湘南紙芝居講座の開講

講師：澤田けい子氏（紙芝居文化推進協議会 理事）

会場：藤沢市本庁舎市民利用会議室

第一期目 11月5日（土）、12日（土） 10名（満員）

第二期目 3月18日（土）、25日（土） 9名（応募は満員の10名、内1名が欠席）

本事業には、8名のボランティアが講座のお手伝いをしてくださった。



② オリジナル紙芝居の制作

藤沢の歴史を学べる作品を制作した。作品の骨格となるシナリオ原案を、藤沢市在住のクリエイターに作成していただいた。イラスト制作は、紙芝居師あんぢさんに依頼をした。また、作品の主人公的キャラクターには、著作権者の藤沢愛さんに許可をいただき地元で活躍する「江ノ島さんぼ」を起用した。また、内容については、藤沢市郷土歴史課、シティプロモーション課にもご協力をいただいた。そして、この作品を広く市民の方々に親しんでいただける様に、市販用として製

本を合同会社シマダ出版に依頼をし、書籍『おでかけケンちゃん大発見! 藤沢市編』として出版していただいた。



〈成果・効果〉

- ・一期2日間の講座を二期開催し、受講者19名（見学者1名）。
- ・受講の結果、当法人の会員となってくださった方が、1名。

参加者の多くが、退職後のシニア層で、見込んでいたターゲットにしっかりとリーチ出来ていた。参加者のほとんどが、今後も紙芝居の講座を希望、もしくは練習会の開催を希望していて、継続して学んでいきたい意向を表現していた。今後のボランティアへの参加についても前向きな回答を多くいただけた。これについても、目的としていた「セカンドキャリア」への意欲向上につながった。本事業により制作した紙芝居『おでかけケンちゃん大発見! 藤沢市編』と『江島縁起』は、藤沢市を楽しく学ぶことができるツールとして、誰でも手にすることが出来るものとして制作・完成することができた。



事業を実施しての課題

「紙芝居を演じる」技術は、1回の受講で完成するものではなく、繰り返しの練習や実際に演じることが必要となる為、受講終了生に向けた練習会の定期的な開催が重要になること。また、今まではプロを派遣していたが、今後はボランティアを派遣することになる為、その技量・マナー等の「質の担保」をどの様にしていくのか? 受け入れ側も、全てが手放して喜んでくれる訳では無いので、施設側とのコミュニケーション・信頼の形成をどう築いていくかがポイントとなると想定される。ただ、参加者の意欲・向上心はとても高く、いずれのスキルも「学ぶ機会」をしっかりと提供出来れば、問題は解決出来ると思われる。